

事業名 平成19年度社会同和教育市町村巡回研修会

趣 旨 県民の同和問題及び社会同和教育の正しい理解を深め実践を促すため、広く県内市町村を巡回して研修を行う。

実施主体 主催:新潟県教育委員会（主管:上越教育事務所） 共催:上越管内3市教育委員会

参加対象 教育委員会職員等教育行政関係者、社会教育委員、公民館運営審議会委員
小・中・高・中等教育・特別支援学校関係職員、PTA関係者、社会教育関係団体
人権擁護委員、民生委員（児童委員）、社会福祉行政関係者 等

参加者数 60人

回数 1回 **日数** 1日 **時間** 5.5時間

場所 上越市浦川原地区公民館（上越市浦川原区釜淵5番地）

内 容

回	期日・時間	テーマ	講師等
1	9月5日(水) 10:00～16:30	同和問題に解消に向けて ～ 今、私にできること ～	講師：中村 忠雄 様
	内容・方法	①開会式 ②県の同和教育の取組 県教育庁生涯学習推進課担当者が、県の同和教育の現状とその取組について説明 ③講義「共生と人権 ～同和問題の視点から～」 講師：中村 忠雄 様 部落差別の本質や部落差別の現状について、被差別者の立場に立って具体例を交えながら極めて分かり易い内容だった ④ビデオフォーラム ○ドキュメンタリー「結婚」視聴 ○グループ協議 様々な立場から意見交換ができるグループ編成を行い、講義とVTRの内容をもとに協議を行った。 ○グループ協議の発表 グループ協議の内容を発表し合い、協議内容を共通理解した ○まとめ グループ協議と発表を受けて、県生涯学習推進課担当者が研修全体をまとめた ⑤閉会式	

成 果 ・ 講師の被差別者の立場に立った話しぶりは参加者に確かな理解と大きな感銘を与え、同和問題の正しい理解につながった。
・ グループ協議では、講義とVTRの内容をもとに、各自が「今、わたしにできること」という視点から同和問題解決に向けての意見交換がなされ、同和問題解消に向けた今後の取組について、一人一人が確かな考えをもつことができた。

課 題 ・ 参加した保護者の感想の中に「初めて参加した」「誤解をしていた部分があった」等々があり、研修の機会がある人たちとの間に意識の違いがあった。同和問題の受け止めに対して昨年同様の傾向が見られたことから、今後の本研修のあり方を示しているように感じた。

問合せ先 新潟県教育庁上越教育事務所社会教育課
〒943-8551 上越市本城町5-6 TEL 025-526-9377 FAX 025-523-7542
E-mail ngt501010@pref.niigata.lg.jp